

エレミヤ書におけるイスラエルの回復の預言

以下、すべて【新改訳改訂第3版】からの引用

【01】

3:14 背信の子らよ。帰れ。——【主】の御告げ——わたしが、あなたがたの夫になるからだ。わたしはあなたがたを、町からひとり、氏族からふたり選び取り、シオンに連れて行こう。

3:15 また、あなたがたに、わたしの心になかった牧者たちを与える。彼らは知識と分別をもってあなたがたを育てよう。

3:16 その日、あなたがたが国中にふえて多くなるとき、——【主】の御告げ——彼らはもう、【主】の契約の箱について何も言わず、心にも留めず、思い出しもせず、調べもせず、再び作ろうともしない。

3:17 そのとき、エルサレムは『【主】の御座』と呼ばれ、万国の民はこの御座、【主】の名のあるエルサレムに集められ、二度と彼らは悪いかたくなな心のままに歩むことはない。

3:18 その日、ユダの家はイスラエルの家といっしょになり、彼らはともどもに、北の国から、わたしが彼らの先祖に継がせた国に帰って来る。」

【02】

4:5 「ユダに告げ、エルサレムに聞かせて言え。国中に角笛を吹け。大声で叫んで言え。『集まれ。城壁のある町に行こう。』

4:6 シオンのほうに旗を掲げよ。のがれよ。立ち止まるな。わたしがわざわざ北からもたらし、大いなる破滅をもたらすから。

【03】

12:14 「【主】はこう仰せられる。わたしが、わたしの民イスラエルに継がせた相続地を侵す悪い隣国の民について。見よ、わたしは彼らをその土地から引き抜き、ユダの家も彼らの中から引き抜く。

12:15 しかし、彼らを引き抜いて後、わたしは再び彼らをあわれみ、彼らをそれぞれ、彼らの相続地、彼らの国に帰らせよう。

【04】

16:14 それゆえ、見よ、その日が来る。——【主】の御告げ——その日にはもはや、『イスラエルの子らをエジプトの国から上らせた【主】は生きておられる』とは言わないで、

16:15 ただ『イスラエルの子らを北の国や、彼らの散らされたすべての地方から上らせた【主】は生きておられる』と言うようになる。わたしは彼らの先祖に与えた彼らの土地に彼らを帰らせる。

【05】

23:3 しかし、わたしは、わたしの群れの残りの者を、わたしが追い散らしたすべての国から集め、もとの牧場に帰らせる。彼らは多くの子を生んでふえよう。

23:4 わたしは彼らの上に牧者たちを立て、彼らを牧させる。彼らは二度と恐れることなく、おののくことなく、失われることもない。——【主】の御告げ——

23:5 見よ。その日が来る。——【主】の御告げ——その日、わたしは、ダビデに一つの正しい若枝を起こす。彼

は王となって治め、栄えて、この国に公義と正義を行う。

23:6 その日、ユダは救われ、イスラエルは安らかに住む。その王の名は、『【主】は私たちの正義』と呼ばれよう。

【06】

23:7 それゆえ、見よ、このような日が来る。——【主】の御告げ——その日には、彼らは、『イスラエルの子らをエジプトの国から上らせた【主】は生きておられる』とはもう言わないで、

23:8 『イスラエルの家のすえを北の国や、彼らの散らされたすべての地方から上らせた【主】は生きておられる』と言って、自分たちの土地に住むようになる。』

【07】

24:6 わたしは、良くするために彼らに目をかけて、彼らをこの国に帰らせ、彼らを建て直し、倒れないように植えて、もう引き抜かない。

24:7 また、わたしは彼らに、わたしが【主】であることを知る心を与える。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。彼らが心を尽くしてわたしに立ち返るからである。

【08】

27:22 『それらはバビロンに運ばれて、わたしがそれを顧みる日まで、そこにある。——【主】の御告げ——そうして、わたしは、それらを携え上り、この所に帰らせる。』

【09】

29:11 わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——【主】の御告げ——それはわざわいではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

29:12 あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。

29:13 もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけるだろう。

29:14 わたしはあなたがたに見つけられる。——【主】の御告げ——わたしは、あなたがたの繁栄を元どおりにし、わたしがあなたがたを追い散らした先のすべての国々と、すべての場所から、あなたがたを集める。——【主】の御告げ——わたしはあなたがたを引いて行った先から、あなたがたをもとの所へ帰らせる。』

【10】

30:3 見よ。その日が来る。——【主】の御告げ——その日、わたしは、わたしの民イスラエルとユダの繁栄を元どおりにすると、【主】は言う。わたしは彼らをその先祖たちに与えた地に帰らせる。彼らはそれを所有する。』

【11】

30:10 わたしのしもべヤコブよ。恐れるな。——【主】の御告げ——イスラエルよ。おののくな。見よ。わたしが、あなたを遠くから、あなたの子孫を捕囚の地から、救うからだ。ヤコブは帰って来て、平穩に安らかに生き、おびえさせる者はだれもない。

【12】

31:8 見よ。わたしは彼らを北の国から連れ出し、地の果てから彼らを集める。その中には目の見えない者も足のなえた者も、妊婦も産婦も共にいる。彼らは大集団をなして、ここに帰る。

31:9 彼らは泣きながらやって来る。わたしは彼らを、慰めながら連れ戻す。わたしは彼らを、水の流れのほとりに導き、彼らは平らな道を歩いて、つまづかない。わたしはイスラエルの父となろう。エフライムはわたしの長子だから。』

【13】

31:10 諸国の民よ。【主】のことばを聞け。遠くの島々に告げ知らせて言え。「イスラエルを散らした者がこれを集め、牧者が群れを飼うように、これを守る」と。

31:11 【主】はヤコブを贖い、ヤコブより強い者の手から、これを買い戻されたからだ。

【14】

31:12 彼らは来て、シオンの丘で喜び歌い、穀物と新しいぶどう酒とオリーブ油と、羊の子、牛の子とに対する【主】の恵みに喜び輝く。彼らのたましいは潤った園のようになり、もう再び、しぼむことはない。

【15】

31:15 【主】はこう仰せられる。「聞け。ラマで聞こえる。苦しみの嘆きと泣き声。ラケルがその子らのために泣いている。慰められることを拒んで、子らがいなくなったので、その子らのために泣いている。」

31:16 【主】はこう仰せられる。「あなたの泣く声をとどめ、目の涙をとどめよ。あなたの労苦には報いがあるからだ。——【主】の御告げ——彼らは敵の国から帰って来る。

31:17 あなたの将来には望みがある。——【主】の御告げ——あなたの子らは自分の国に帰って来る。

【16】

31:21 あなたは自分のために標柱を立て、道しるべを置き、あなたの歩んだ道の大路に心を留めよ。おとめイスラエルよ。帰れ。これら、あなたの町々に帰れ。

31:22 裏切り娘よ。いつまで迷い歩くのか。【主】は、この国に、一つの新しい事を創造される。ひとりの女がひとりの男を抱こう。」

【17】

31:23 イスラエルの神、万軍の【主】は、こう仰せられる。「わたしが彼らの繁栄を元どおりにするとき、彼らは再び次のことばを、ユダの国とその町々で語ろう。『義の住みか、聖なる山よ。【主】があなたを祝福されるように。』

31:24 ユダと、そのすべての町の者は、そこに住み、農夫も、群れを連れて旅する者も、そこに住む。

31:25 わたしが疲れたたましいを潤し、すべてのしぼんだたましいを満たすからだ。

【18】

31:27 見よ。その日が来る。——【主】の御告げ——その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家に、人間の種と家畜の種を蒔く。

31:28 かつてわたしが、引き抜き、引き倒し、こわし、滅ぼし、わざわいを与えようと、彼らを見張っていたように、今度は、彼らを建て直し、また植えるために見守ろう。——【主】の御告げ——

【19】

32:37 「見よ。わたしは、わたしの怒りと、憤りと、激怒とをもって散らしたすべての国々から彼らを集め、この所に帰らせ、安らかに住ませる。

32:38 彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。

32:39 わたしは、いつもわたしを恐れさせるため、彼らと彼らの後の子らの幸福のために、彼らに一つの心と一つの道を与え、

32:40 わたしが彼らから離れず、彼らを幸福にするため、彼らととこしえの契約を結ぶ。わたしは、彼らがわた

しから去らないようにわたしに対する恐れを彼らの心に与える。

32:41 わたしは彼らを幸福にして、彼らをわたしの喜びとし、真実をもって、心を尽くし思いを尽くして、彼らをこの国に植えよう。」

【20】

33:7 わたしはユダとイスラエルの繁栄を元どおりにし、初めのように彼らを建て直す。

【21】

33:14 「見よ。その日が来る。——【主】の御告げ——その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家に語ったいつくしみのことばを成就する。

【22】

46:16 多くの者がつまずき、倒れた。彼らは互いに言った。『さあ、私たちの民のところ、生まれ故郷に帰ろう。あのしいたげる者の剣を避けて。』

【23】

48:27 イスラエルは、あなたの物笑いではなかったのか。それとも、あなたが彼のことを語るたびごとに彼に向かって頭を振っていたのは、彼が見つけられた盗人のひとりであったためか。

【24】

50:3 なぜなら、北から一つの国がここに攻め上り、この地を荒れ果てさせたからだ。ここには住む者もない。人間から家畜に至るまで逃げ去った。

50:4 その日、その時、——【主】の御告げ——イスラエルの民もユダの民も共に来て、泣きながら歩み、その神、【主】を、尋ね求める。

50:5 彼らはシオンを求め、その道に顔を向けて、『来たれ。忘れられることのないとこしえの契約によって、【主】に連なるう』と言う。

【25】

50:19 わたしはイスラエルをその牧場に帰らせる。彼はカルメルとバシャンで草を食べ、エフライムの山とギルアデで、その願いは満たされる。

【26】

50:33 万軍の【主】はこう仰せられる。「イスラエルの民とユダの民は、共にしいたげられている。彼らを取りこにした者はみな、彼らを捕らえて解放しようとはしない。」

50:34 彼らを贖う方は強く、その名は万軍の【主】。主は、確かに彼らの訴えを支持し、この国をいこわせるが、バビロンの住民を震え上がらせる。

【27】

51:5 しかし、イスラエルもユダも、その神、万軍の【主】から、決して見捨てられない。彼らの国は、イスラエルの聖なる方にそむいた罪に満ちていたが。

51:6 バビロンの中から逃げ、それぞれ自分のいのちを救え。バビロンの咎のために断ち滅ぼされるな。これこそ、【主】の復讐の時、報いを主が返される。

【28】

51:33 イスラエルの神、万軍の【主】が、こう仰せられたからだ。「バビロンの娘は、踏まれるときの打ち場の

ようだ。もうしばらくで、刈り入れの時が来る。

【29】

51:45 わたしの民よ。その中から出よ。【主】の燃える怒りを免れて、おのおの自分のいのちを救え。

【30】

51:50 剣からのがれた者よ。行け。立ち止まるな。遠くから【主】を思い出せ。エルサレムを心に思い浮かべよ。